

町 長	副町長	課 長	主 幹	担 当	合 議
					子どもセンター 建設水道課 子育て支援班

別記様式第4号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">会 議</span> <del>— 打合せ —</del> <del>協 議</del>	文書番号	上富子育第1211号
		決裁期日	令和3年12月27日
名 称	第5回上富良野町新子どもセンター建設検討委員会		
日 時	令和3年12月22日(水) 10:00 ~ 10:50		
場 所	保健福祉総合センター 2階 研修室		
出 席 者	別紙名簿のとおり(委員 10名、事務局 4名)、建築設計事務所 4名 各事務担当者(主査2名、主事1名) 計21名		
内 容	<p>開会</p> <p>1. 座長挨拶            年末のお忙しい中、また道内で暴風雪警報が出ている中お集まりいただき感謝する。            大阪では精神科クリニック放火事件という痛ましい事件が起きており、亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、改めてビル火災の恐ろしさも感じた次第である。上富良野町新子どもセンターの設計については現在検討中であるが、火災時の避難経路を確認しつつ、地震などの緊急事態のこともしっかりと検討していければと思っている。</p> <p>2. 保健福祉課長報告            第5回目の検討委員会開催にあたり、前回の会議において、まずこの新子どもセンターの構造体が木造、鉄骨、RCいずれかという検討と、熱源システムについても検討を着手しているところであるが、設計業者と町との協議の中で本日皆様にお示しできる資料まで完成していない。資料の提出ができなかったことに対し、深くお詫び申し上げます。            次回1月の建設検討委員会開催時に間に合うよう、業者との打合せ並びに理事者への説明も予定しているので、本日の会議については、事前に配付させていただいた資料1、資料2に基いて進めさせていただきたい。</p> <p>3. 議題(進行:座長)            (1) 基本設計について            ① 第4回建設検討委員会質疑応答            資料1に基づき、事務局より説明。</p>		

質疑応答

委員 基本計画の中で記載がある食育サロンについて、そもそも誰が何を教えてののかということや実際に設置する調理台というのは、どのようなものか。例えば、IHヒーターであるとかオーブンであるとか、その辺りも含め食育サロン全般についてお伺いしたい。

外構について北側に子どもの遊ぶ場所があり、町道の東5丁目通りについては交通量があるということで、子どもたちが野球やサッカーをしてボールが飛び出した際の車に対する迷惑や子どもの安全という部分で、フェンスについてはどのようなものを考えているかお伺いしたい。

事務局 食育サロンについては、現在こどもセンターの中にも食育サロンの部屋がある。離乳食の教室やコロナ禍の前にお母さん方がそこでお昼ご飯を食べるという用途でも使っていた。また、子どもセンターを使う他の団体が調理する際にも使っている。誰でも交流する場として使えるということで、3年前に整理している。調理台について現在あるのは、業務用の大型のガスコンロと一般的な流し台、冷蔵庫、電子レンジなど、そのような器具は揃えている。また、調理台や作った後にみんなで食べるスペースというのも備えているので、そのような機能を新子どもセンターにも整備しようと思っている。様々な意見を聞いていると、一般的な調理台が良いというご意見も聞いているので、IHかガスコンロどちらを主体にするかというのは利用者が使いやすいものをと考えている。食育サロンは5組10人は入れるようなところで考えている。

園庭のフェンスについては、基準の高さがあればそれに沿った形でポールを立て、ネットフェンスを設置することによりボールが外に出て行かないよう対策を考えている。

今の鉄格子のようなフェンスは考えていない。除雪のことも考慮し、囲い込みのフェンスについては検討している。敷地の北側については物置や畑、遊具を置いて道路に隣接した園庭にするものとし、子どもの安心安全と生活圏として道路を利用している皆様にも配慮した施設の機能を協議しているところであるので、この北側部分についての配慮を検討してはどうかというご意見として受け止めたい。

①平面計画案（No.3）について

資料2に基づき、事務局より説明。

質疑応答

委員 子どもセンター側の廊下の突き当りについて、何か防犯や火災の際に出ることができている形になっているか。

内 容

内 容	<p>設計事務所    ここについては委員の仰る通り、避難できる形にしようと考えている。廊下の突き当たりなので、自然光を廊下の中に採りたいという思いもある。普段は施錠できる形にして、非常時は外に出れるようにする。ガラスの建具が入る形にしたいと考えている。</p> <p>委員            非常口の設置としては必要性を感じるのですがその通りだと思ふ反面、東5丁目通り側に非常口を作るということは、冬場非常口として機能させる雪道の確保について、この幅だと機械が入りづらく、非現実的な非常口になるという印象を持つがいかがか。</p> <p>設計事務所    ご意見に関して、まさにその通りだと思ふ。道路の境界線と建物のスペースが2mほどしかないので、ここから外に出たとしても冬期間雪がこんもりと積もっていることにはならないので、その辺りを考慮した上で、災害時や非常時にどのような避難が考えられるかということも含めて検討していきたい。併せて道路と建物の床の高さは高低差があるので、こちらについても考慮していかなければと感じている。</p> <p>事務局        新しく建てる施設なので、避難誘導はもちろん災害時においても利用者にとって安全な出入口を確保しなければならないと考えている。採光や出入口の除雪等においては図面の中で、改めて設計事務所と検討していきたい。</p> <p>                  児童館の方については前回説明したとおり遊戯室のところには、図面にまだ反映されていないが、東5丁目道路側でない壁側に避難口を作るよう対策する。</p> <p>委員            子どもセンター側の「(M)」の表記は男性用トイレか。</p> <p>                  図面上の小さい2つが小使用かと思うが、個室になってるトイレについては大人用か。子どもが座ってトイレしたい時はどうするのか。</p> <p>                  児童館入ってすぐのところになぜ壁がついたのか。</p> <p>事務局        男の子が座ってトイレをしたい場合には、被せる式の補助便座を配置しようと考えている。女子トイレについては、座るトイレが3つあり、こちらについては再考する。</p> <p>                  児童館のカウンターの壁の件については、冬場子どもたちの出入りが頻繁に行われると風が入ってきて建物内部が冷えることが想定されるため、壁というか腰高くらいのガラスで玄関から入って子どもたちは見えるような形を考えている。平日の午前中は事務室の職員だけとなるので、効率的に暖を取れることも考えて玄関を見渡せるガラスのような形で考えている。</p>
-----	---

内 容	<p>委員 1点目、靴洗いを改めて作ったということで、これは何を想定しての靴洗いか教えていただきたい。</p> <p>2点目、大変難しい課題で恐縮だが、私達は子どもたちが使う建物に自然の光がより多く欲しいという願いを持つ一方で、ガラス系が増えると断熱や結露の問題が非常に心配されるという思いを持っている。結露は出る場所は毎年のように出て建物の傷みにも影響する。一番の解消は空調だと思うが、その辺りの空調や電源が全てはっきりしてない中では何とも言いようがないが、やはり結露対策や断熱・暖房も含めた考え方をしていかなければならないと思う。</p> <p>3点目、先ほどの食育サロンの関係もあるが、電源や暖房等が決まってない中で、今内部で精査してるということで、次回資料が出てきた時には、ほぼそれしかないような形で出てくるのではないかなという不安を気にしつつ、食育サロンでガス使えば、ガスの配管等が全て必要になってくるので、今の時代だとIHに統一した方が良いのではと思っている。</p> <p>事務局 靴洗いについては、畑での作業や外で遊んで靴が汚れた時に使用することを想定している。また、夏場は水遊びの時間もあり外に水道があると便利ということも想定して靴洗いを追加している。</p> <p>設計事務所 このような施設においては自然の光を採り入れた方が良いが、その分ガラスの面積がどんどん増え、委員の仰る通り、断熱が欠損されていくと思われる。しかし、方法は色々あり、外壁部分の断熱性能を上げて、施設全体の断絶の損失はなるべくないようにする。また、断熱サッシなどを使って結露を防ぐ。ガラスについても、ペアガラスは全体の基本として考えている。結露というのは、その部屋の湿度と空調・暖房の設定の仕方によって防ぐこともできる。サッシの材質によっても結露が起こりにくくできるので、その辺りは慎重に検討していきたい。</p> <p>壁のガラス面についてはなるべく大きくと考えており、その中で子どもたちや町民の方が活動して賑わってところが町ににじみ出るようなイメージである。</p> <p>事務局 私達もIHが良いのかなと考えている。今のご家庭はIHにされているところも多く、安全性の面からもそのように考えたい。</p> <p>委員 靴洗いの件で、設置はお願いしたいと考えている。ただ、靴洗いというイメージとして受け皿があって、排水溝が付いていると想像してしまうが、実際に使う泥が入って排水溝がすぐ詰まってしまう、あっという間に使われなくなるというのをいくつも見てきている。泥が入っても詰まらない排水溝は現実的に作れないと思うので、玄関に靴洗いとして作るより、水を使ってそのままにできるようなところに作るのはいかがでしょうか。受け皿を作るとすぐ詰まるので、私はやらない方が良いと考えている。</p> <p>2点目、採光の考え方については全くその通りで難しいことも承知しているが、最後のお願いとして結露が出始めると冬の3ヶ月間</p>
-----	--

内 容	<p>毎朝拭かなければならなくなり、それが10年も20年も続くことになるわけで、100%は難しいかもしれないが結露を防ぐ設計をぜひお願いしたい。賑わいが外にも伝わるというのは、コンセプトとして大変素晴らしいと思うし、町としても支持したいところかと思う。子育て側は子どもたちの活動があって、その通りで良いと思うが、発達支援センター側については、逆に配慮を必要とされる方々の利用も一定程度あるということも忘れずに配慮をお願いしたい。</p> <p>事務局 靴洗いの受け皿について使い勝手が良くないとのこと意見もいただいたので、方法については検討していきたい。</p> <p>委員 今後の検討委員会の予定について、我々の任期は令和4年3月31日までということで、そのギリギリまで会議をやることはないと思うが、ここまでで検討委員会の中で結論出してくださいというようなスケジュールあれば教えていただきたい。今回基本設計が出来上がって来年実施設計という部分で、実際の窓の大きさ等細かい平面図、立面図が出来上がってくるかと思う。その中でデザインや施設入り口の看板等、そのような部分は保健福祉課で担当がやるようになるのかなと思うが、せっくなので利用者の方の意見を聞くような場を設けることを考えているのかお伺いしたい。</p> <p>事務局 今回、5回目の検討委員会では構造体と暖房の決議についても皆さんにお諮りして検討するように予定をしていたが、間に合わなかったので、1月14日に皆様にお諮りできるような形で資料の提出、情報提供を予定したいと考えている。1回では皆様の十分な審議にはならないので、事務局としては1月下旬にも検討委員会を開催させていただき、1月中には何とか構造体や熱源についての審議をお願いしたいと考えている。基本設計が3月までに完成することになっているので、2月には皆様と全体として再度確認をし、基本計画の全体概要についてもまとめたものを、皆様と確認をするような作業を考えてるところである。完成品を求めるのは3月末までということで設計会社と契約をしているので、それについては皆様には町に提出をいただいた段階で皆様にはお配りするような形になるかと思う。今後の会議については、当初の予定よりも少し遅れていることは事務局から冒頭報告した通りになっているので、設計業者も同席しますので、そのようなことで互いに十分協議をして進めていきたいと考えている。</p> <p>次に実施設計に向けた外構やデザイン等について、外構工事は令和6年度になるが、全体の構想についてはまだまだこれからになり、町としては予算査定時期でこれは決定ではない。</p> <p>基本設計は保健福祉課が所管だが、実施設計は建設水道課に事務委任をする。実施設計は建設水道課に事務委任をし、そこが中心となってこれから詰めていくが、子どもセンターの建設を検討委員会の所管は保健福祉課であるので、建設水道課と十分協議して今後の事務手続きについてどのように進めるのがよろしいかを子の建設検討委員会が終わるまでには町からご提案したいと考えている。</p>
-----	--

上富良野小学校の建設時も検討委員会を終えた後で実施設計において一部変更等、委員にも情報を提供したいということで要綱を一部改正し、頻回ではないが適時委員にお集まりいただいた内容も教育委員会から一部情報を得ているので、この会議はそのような形を皆様としていくべきなのかどうかは皆様にもお諮りするのかが、その辺りの町としての姿勢については、少しお時間をいただきたいと考えている。

(2) その他

委員       パブリックコメントについては第1回目の会議で配布された建設検討委員会の開催計画のとおり実施されたか。

事務局     パブリックコメントについては、既に終了しており第2回の検討委員会資料及び12月の広報誌にて結果を公表したところである。

3. その他

・次回会議開催予定等

事務局     次回の会議の開催については、1月14日（金）10時00分から同会場で開催とさせていただきたい。

閉会

内 容